

大学の世界展開力強化事業 中間評価調書

記入要領

「中間評価関係書類等の作成・提出について」に記載している整理番号（事務局にて転載済）

大学等名 (○が代表大学)	大学名（事務局にて転載済）	整理番号	↓
主たる交流先	主たる交流先（タイプ等）（事務局にて記載済）		
事業名	事業名【和文】（事務局にて転載済）	事業責任者の氏名及び所属部局等の名称・職名を記入してください。	
学長名			
事業責任者	(氏名) ○○ ○○ (職名) 大学院○○○研究科・教授 (交替年月日) 平成○○年○月○日		
取組学部・研究科等名	事業責任者に交替があった場合のみ記入してください。		
	計画調書の【基本情報】取組学部・研究科等名からの転載（事務局にて転載済）		
相手大学名 (国名)	①	()	
	②	計画調書の【基本情報】海外の相手大学からの転載 (事務局にて転載済)	
	③		
	④		
	⑤	海外相手大学追加調書を提出している場合は、追加した相手大学名（国名）を、 計画調書から転載した海外の相手大学名に続けて記入してください。 (記入例を参照)	
	⑥		
	⑦		
	⑧	()	
	⑨	○○大学 (○○○)	追加調書提出済
	⑩	()	
	⑪		
	⑫	追加した相手大学名の記入例	
	⑬		
	⑭	複数年度分の報告書等を提出する場合は、「備考」欄に年度を必ず 記入してください。(記載年度が西暦の場合は西暦で可)	
	⑮	()	
参考資料一覧	資料名	備考	
	1	大学の世界展開力強化事業 事業結果報告書	平成29年度 ↓
	2 参考資料がない場合は、「資料名」欄に「-」と記入してください。		

事務担当者	(氏名) ○○ ○○	(職名) ○○○部△△課・課長
連絡先	(住所) 〒	事務担当者の氏名及び所属部局等の名称・職名を記入してください。
	(電話番号)	

※中間評価調書の内容等について連絡可能な事務担当者を記入してください(複数名の担当者がある場合でも代表者1名を記入してください)。また、連絡先E-mailについては、複数人で確認が可能なメールアドレスを記入してください。

全てのページに「代表大学名」及び「主たる交流先」を記入してください。

(大学名 :) (主たる交流先 :)

事業の目的・概要及び交流プログラムの内容

① 事業の目的・概要等（計画調書からの転載）【1ページ以内】

【事業の目的及び概要】

計画調書の【①事業の目的・概要等】からの転載
(事務局にて転載済)

【養成する人材像】

「【本事業で計画している交流学生数】」については、本調書内の以下の数値において齟齬がないよう注意して作成してください。

- [進捗状況の概要] の「【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】」
- [2. 目標の達成状況] の「①中間評価までの達成目標 (2) 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした学生数の推移について」
- [2. 目標の達成状況] の「②本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」
- [2. 目標の達成状況] の「③本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」
- [2. 目標の達成状況] の「④中間評価までの交流学生数」

海外相手大学追加調書がない場合の記入例

海外相手大学追加調書の提出がある場合の記入例

【本事業で計画している交流学生数】 ※各年度の派遣及び受入合計人数（交流期間、単位取得の有無は問わない）

	平成2	「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。追加調書の提出がない場合は、「申請時の計画調書記載人数」を記入してください。			
	派遣				
合計人数	人	15人	10人	20人	10人
申請時の計画調書記載人数	人	15人	10人	15人	10人
海外相手大学追加調書分	人	—	—	5人	0人

申請時の計画調書に記載した人数の転載 (事務局にて転載済)

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください (複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入)。提出がない場合は、「—」を記入してください。「人」は不要です。

(大学名 :

) (主たる交流先 :

)

② 事業の概念図 (計画調書からの転載) 【1ページ以内】

計画調書の【②事業の概念図】からの転載
(事務局にて転載済)

③ 国内大学等の連携図 (計画調書からの転載) 【1ページ以内】

計画調書の【③国内大学等の連携図】からの転載
(事務局にて転載済)

進捗状況の概要 【1ページ以内】

【進捗状況の概要】は、中間評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の進捗状況、成果または発展への課題等について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。その際、本欄だけで完結するようにしてください。（「〇ページ参照」などの記載は認められません。）

また、本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※1ページ以内（文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。）

中間評価までの交流学生数について、平成28年度及び平成29年度の計画と実績を記入してください。計画については、海外相手大学の追加により、計画した交流学生数に変更が生じている場合は、変更後の人数を記入してください。（変更がない場合は、申請時の計画調書に記載した人数を記入してください。）
なお、本調書内の以下の数値との齟齬がないよう注意して作成してください。

- 【事業の目的・概要及び交流プログラムの内容】の「①事業の目的・概要等」の「本事業で計画している交流学生数」
 [2. 目標の達成状況]の「①中間評価までの達成目標（2）学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした学生数の推移について」
 [2. 目標の達成状況]の「②本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」
 [2. 目標の達成状況]の「③本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」
 [2. 目標の達成状況]の「④中間評価までの交流学生数」

【本事業における中間評価までの交流学生数の計画と実績】

平成28年度				平成29年度			
派遣		受入		派遣		受入	
計画※	実績	計画※	実績	計画※	実績	計画※	実績
人	人	人	人	人	人	人	人

※海外相手大学を追加している場合は、追加による交流学生数の増加分を含んでいる。

特筆すべき成果（グッドプラクティス）【1ページ以内】

【特筆すべき成果（グッドプラクティス）】は、中間評価結果とともに基本的に原文のまま公表します。本事業の成果について、広く社会に分かりやすく紹介するという観点から作成してください。その際、本欄だけで完結するようにしてください。（「〇ページ参照」などの記載は認められません。）なお、適宜図表等を用いて作成いただいて構いません。また、本欄に記入した内容について、本調書の記載事項と齟齬がないよう注意して作成してください。

※1ページ以内（文字の大きさは10.5ポイントで記入してください。）

中間評価までのアクティビティ 【1ページ以内】

平成 年 月

平成 年 月

選定後から平成29年度末までの当該事業に係るアクティビティについて、年月及び内容を、実施時期の早い順に記入してください。

また、平成30年度のアクティビティのうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。

なお、必要に応じて、選定前（平成28年4月～事業開始）のアクティビティを記入してもかまいませんが、それらは中間評価の対象とはなりません。

記入する場合は、下記を参考に選定前のものであることを明示してください。

※1ページ以内

(選定前のアクティビティを記入する場合)

中間評価までのアクティビティ 【1ページ以内】	
平成28年4月
平成28年7月
	(以上、選定前のアクティビティ)
平成29年12月

1. 取組状況	
① 交流プログラムの内容 【3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【事業の目的・概要及び交流プログラムの内容】 「④交流プログラムの内容」 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成29年度末までの取組状況】</p> <p><small>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</small></p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成30年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度の取組状況であることが分かるように記入してください。 また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。 ※【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p><small>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</small></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

（大学名： ）（主たる交流先： ）

--	--

(大学名 :) (主たる交流先 :)

--	--

② 質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成 【(1)、(2)合わせて3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 交流プログラムの質の保証について	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【質の保証を伴った魅力的な大学間交流の枠組み形成】 「① 交流プログラムの質の保証について」 「② 相手大学（相手国）のニーズを踏まえた大学間交流の展開」 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成29年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成30年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度取組状況であることが分かるように記入してください。 また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。 ※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

--	--

(2) 相手大学 (相手国) のニーズを踏まえた大学間交流の展開

【実績・準備状況】

【平成29年度末までの取組状況】

* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

なお、平成30年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度取組状況であることが分かるように記入してください。

また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【計画内容】

【取組状況における課題点】

* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)(2)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(大学名 :) (主たる交流先 :)

③ 外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備 【(1)～(3)合わせて3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 外国人学生の受入のための環境整備	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【外国人学生の受入及び日本人学生の派遣のための環境整備】</p> <p>①外国人学生の受入のための環境整備</p> <p>②日本人学生の派遣のための環境整備</p> <p>③関係大学間の連絡体制の整備 からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成29年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成30年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度の取組状況であることが分かるように記入してください。 また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

(2) 日本人学生の派遣のための環境整備

【実績・準備状況】

【計画内容】

【平成29年度末までの取組状況】

* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

なお、平成30年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度の取組状況であることが分かるように記入してください。

また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【取組状況における課題点】

* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(大学名 :) (主たる交流先 :)

(3) 関係大学間の連絡体制の整備

【実績・準備状況】

【計画内容】

【平成29年度末までの取組状況】

* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。

申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

なお、平成30年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度の取組状況であることが分かるように記入してください。

また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【取組状況における課題点】

* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。

事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【今後の展望】

上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(3)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(大学名 :) (主たる交流先 :)

④ 事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及 【(1)～(4)合わせて3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 事業の実施に伴う大学の国際化	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>計画調書の【事業の実施に伴う大学の国際化と情報の公開、成果の普及】</p> <p>①事業の実施に伴う大学の国際化</p> <p>②事務体制の強化</p> <p>③事業の実施、達成・進捗状況の評価体制</p> <p>④国内外への情報提供の方法・体制</p> <p>からの転載（事務局にて転載済）</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成29年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成30年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

(2) 事務体制の強化	
【実績・準備状況】	<p>【平成29年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成30年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
【計画内容】	<p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
	<p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
(3) 事業の実施、達成・進捗状況の評価体制	
【実績・準備状況】	<p>【平成29年度末までの取組状況】</p> <p>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。</p> <p>なお、平成30年度取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度取組状況であることが分かるように記入してください。</p> <p>また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
【計画内容】	<p>【取組状況における課題点】</p> <p>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。</p> <p>なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。</p> <p>※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名 :) (主たる交流先 :)

	<p>【取組状況における課題点】</p> <p><small>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</small></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
<p>(4) 国内外への情報提供の方法・体制</p>	
<p>【実績・準備状況】</p> <p>【計画内容】</p>	<p>【平成29年度末までの取組状況】</p> <p><small>* 記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示すること。</small></p> <p>申請時の事業計画と対比させて、平成28年度の選定後から平成29年度末までの取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成30年度の取組状況のうち、海外の大学との連携教育やその質の保証のための取組など、積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度の取組状況であることが分かるように記入してください。 また、記入する取組状況のうち、計画に対し顕著に進捗している点がある場合は、それと分かるように明示してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p><small>* 計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明の上、今後の対応について記入すること。</small></p> <p>事業計画に対し進捗が遅れている点がある場合は、その背景や事情等を説明した上で、遅れを取り戻すための今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の取組状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末までの取組状況】【取組状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名：) (主たる交流先：)

⑤ 留意事項への対応 【1ページ以内】	
審査結果表〔留意事項（改善を要する点、留意すべき点）〕※経費面を含む	留意事項への対応状況
<p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">審査結果表に記載されている【留意事項（改善を要する点、留意すべき点）】（当該大学にのみ開示）からの転載 （事務局にて転載済）</p>	<p>【平成29年度末までの取組状況】 * 対応が遅れている場合は、その背景や事情等を説明すること。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">左記の内容に対応する平成28年度の選定後から平成29年度末までの当該事業に係る取組状況について、具体的に分かりやすく記入してください。 なお、平成30年度を取組状況のうち、左記の内容に係る対応で積極的に示したい実績があれば記入してください。その場合、当該実績が平成30年度を取組状況であることが分かるように記入してください。 また、留意事項への対応が遅れている場合は、その背景や事情等を説明してください。 ※【平成29年度末までの取組状況】と【今後の展望】を合わせて1ページ以内</p> <p>【今後の展望】 * 対応が遅れている場合は、遅れを取り戻すための今後の対応を記入すること。</p> <p style="border: 1px dashed red; padding: 5px;">上記の取組状況を踏まえた、今後の展望について記入してください。 また、留意事項への対応が遅れている場合は、遅れを取り戻すための今後の対応を記入してください。 ※【平成29年度末までの取組状況】と【今後の展望】を合わせて1ページ以内</p>

（大学名： ）（主たる交流先： ）

2. 目標の達成状況	
① 中間評価までの達成目標 【(1)～(4)合わせて3ページ以内】	
申請時の事業計画	事業計画の実施状況
(1) 養成しようとするグローバル人材像について	
(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～平成32年度まで） <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>計画調書の【達成目標】</p> <p>② 養成しようとするグローバル人材像について</p> <p>②-1 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアする学生数の推移について</p> <p>②-2 学生に修得させる具体的能力のうち、「②-1」以外について</p> <p>③ 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組についてからの転載（事務局にて転載済）</p> </div>	(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで） 【平成29年度末における目標の達成状況】 <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>左記(1)の内容のうち、 <u>【(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで）】</u> に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて具体的に分かりやすく記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> </div> <p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p><small>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</small></p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「<u>箇条書き</u>」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> </div> <p>【今後の展望】</p> <div style="border: 1px dashed red; padding: 5px;"> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> </div>
(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで）	

(大学名 :) (主たる交流先 :)

(2) 学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした学生数の推移について

(i) 本事業計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアする学生数に関する達成目標

申請時の計画調書に記載した人数の転載 (事務局にて転載済)

外国語力基準	達成目標	
	中間評価まで (事業開始～平成29年度まで)	事業計画全体 (事業開始～平成32年度まで)
【参考】本事業計画において海外に留学する日本人学生数	人 (延べ数)	人 (延べ数)
1	人 (延べ数)	人 (延べ数)
2	人 (延べ数)	人 (延べ数)

(i) 本事業計画において定める外国語力基準及び同基準をクリアした学生数に関する達成状況

【平成29年度末における目標の達成状況】

外国語力基準	達成状況 (単位: 人)				
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
海外に留学した日本人学生数 (平成28～29年度の実績合計)					
上記のうち外国語力基準を 達成した合計人数					
1	○○○○○○○○○○○○				

グレーの網掛け部分には記入しないでください。

外国語力基準を達成した学生数について、平成28年度及び平成29年度の計画と実績を記入してください。計画については、新たに外国語力基準を追加したことにより学生数に変更が生じている場合は、変更後の人数を記入してください。(変更が無い場合は、申請時の計画調書に記載した人数を記入してください。)なお、本調書内の以下の数値との齟齬がないよう注意して作成してください。

- 【事業の目的・概要及び交流プログラムの内容】の「①事業の目的・概要等」
- 【2. 目標の達成状況】の「①中間評価までの達成目標 (2)学生に修得させる具体的能力のうち、一定の外国語力基準をクリアした学生数の推移について」
- 【2. 目標の達成状況】の「②本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」
- 【2. 目標の達成状況】の「③本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」
- 【2. 目標の達成状況】の「④中間評価までの交流学生数」

(ii) 外国語力基準を定めた考え方

(※ (i) において、複数の外国語力基準を設けている場合は、それぞれについて明示すること)

(iii) 事業計画全体の目標達成に向けたプロセス (事業開始～平成32年度まで)

(※ (i) において複数の外国語力基準を設けている場合は、それぞれについて目標を明示すること)

(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス (事業開始～平成29年度まで)

(※ (i) において複数の外国語力基準を設けている場合は、それぞれについて目標を明示すること)

(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス (事業開始～平成29年度まで)

【平成29年度末における目標の達成状況】

左記(2)の内容のうち

【(iv) 中間評価までの目標達成に向けたプロセス (事業開始～平成29年度まで)】

に対応する達成状況について、出来る限り、申請時の目標と対比させて具体的・客観的なデータ(外部で実施されている資格試験等の成績結果等)をもとに分かりやすく記入してください(実績値を明記してください)。

※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(大学名:) (主たる交流先:)

	<p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p><i>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</i></p> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>
<p>(3) 学生に修得させる具体的能力のうち、「(2)」以外について</p>	
<p>(i) 事業計画全体の達成目標（事業開始～平成32年度まで）</p> <p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで）</p>	<p>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで）</p> <p>【平成29年度末における目標の達成状況】</p> <p>左記(3)の内容のうち <u>(ii) 中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで）</u> に対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて具体的に分かりやすく記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【目標の達成状況における課題点】</p> <p><i>* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。</i></p> <p>申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。 なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p> <p>【今後の展望】</p> <p>上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。 ※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内</p>

(大学名：) (主たる交流先：)

(4) 質の保証を伴った大学間交流の枠組みの形成及び拡大に向けた具体的な取組について

(i) 事業計画全体の達成目標 (事業開始～平成32年度まで)

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～平成29年度まで)

【平成29年度末における目標の達成状況】

左記(4)の内容のうち

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～平成29年度まで)

対応する達成状況について、申請時の目標と対比させて具体的に分かりやすく記入してください。

※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※左記(1)～(4)とそれぞれ対応する【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて3ページ以内

(ii) 中間評価までの達成目標 (事業開始～平成29年度まで)

それぞれの達成目標について、記入してください。海外相手大学追加調書を提出している場合は、追加分を含む人数（下の内訳表の合計）を記入してください。

海外相手大学追加調書を提出している場合、申請時の計画調書に記載した人数を転載してください。提出がない場合は、「-」を記入してください。「人（延べ数）」は不要です。

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

② 本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移 【2ページ以内】

平成27年5月1日現在／本事業の取組単位（学部等）の人数 人

(i) 日本人学生数の達成目標

事業計画全体の達成目標（事業開始～平成32年度まで）	人（延べ数）
うち申請時の事業計画全体の達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	人（延べ数）
中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで）	人（延べ数）
うち申請時の中間評価までの達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）	人（延べ数）

【上記の内訳】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
合計人数	人				
申請時の計画調書記載人数	人				
海外相手大学追加調書分	人				

「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。追加調書の提出がない場合は、「申請時の計画調書記載人数」を記入してください。

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください（複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入）。提出がない場合は、「-」を記入してください。「0」や「人」は不要です。

※記入方法については、次ページの記入例も参照してください。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

計画調書の【達成目標】

④本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移からの転載（事務局にて転載済）

日本人学生数の目標の達成状況

事業計画全体の達成状況（事業開始～平成32年度まで）	人（延べ数）
中間評価までの達成状況（事業開始～平成29年度まで）	人（延べ数）

グレーの網掛け部分には記入しないでください。

【上記の内訳】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
合計人数	人	人			

左記の「中間評価までの達成目標」に対する、平成29年度末における数値実績を記入してください。

【平成29年度末における目標の達成状況】

左記の内容に対する、平成29年度末における目標の達成状況について、具体的に分かりやすく記入してください。

※日本人学生数の目標の達成状況（表）、【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

（大学名： ）（主たる交流先： ）

追加調書がない
場合の記入例

〔1〕日本人学生数の達成目標

事業計画全体の達成目標(事業開始～平成32年度まで)	105	人	延べ数
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	-	人	(延べ数)
中間評価までの達成目標(事業開始～平成29年度まで)	15	人	延べ数
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	-	人	(延べ数)

【上記の内訳】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
合計人数	5人	10人	20人	30人	40人
申請時の計画調書記載人数	5人	10人	20人	30人	40人
海外相手大学追加調書分	-人	-人	-人	-人	-人

追加調書がある
場合の記入例

〔1〕日本人学生数の達成目標

事業計画全体の達成目標(事業開始～平成32年度まで)	113	人	延べ数
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	105	人	(延べ数)
中間評価までの達成目標(事業開始～平成29年度まで)	17	人	延べ数
うち申請時の事業計画全体の達成目標(海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載)	15	人	(延べ数)

【上記の内訳】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
合計人数	5人	12人	22人	32人	42人
申請時の計画調書記載人数	5人	10人	20人	30人	40人
海外相手大学追加調書分	0人	2人	2人	2人	2人

【目標の達成状況における課題点】

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※日本人学生数の目標の達成状況(表)、【平成29年度末における目標の達成状況】
【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※日本人学生数の目標の達成状況(表)、【平成29年度末における目標の達成状況】
【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

(大学名 :

) (主たる交流先 :

)

それぞれの達成目標について、記入してください。海外相手大学追加調書を提出した場合は、追加分を含む人数（下の内訳表の合計）を記入してください。

海外相手大学追加調書を提出した場合、申請時の計画調書に記載した人数を転載してください。提出がない場合は、「-」を記入してください。「人（延べ数）」は不要です。

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

③ 本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移 【2ページ以内】

平成27年5月1日現在／本事業の取組単位（学部等）の人数 人

(i) 外国人学生数の達成目標		人（延べ数）
事業計画全体の達成目標（事業開始～平成32年度まで）		人（延べ数）
うち申請時の事業計画全体の達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）		人（延べ数）
中間評価までの達成目標（事業開始～平成29年度まで）		人（延べ数）
うち申請時の中間評価までの達成目標（海外相手大学追加調書分がある場合のみ記載）		人（延べ数）

【上記の内訳】

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
合計人数	人				
申請時の計画調書記載人数	人				
海外相手大学追加調書分	人				

「申請時の計画調書記載人数」と「海外相手大学追加調書分」の合計を記入してください。追加調書の提出がない場合は、「申請時の計画調書記載人数」を記入してください。

申請時の計画調書に記載した人数の転載（事務局にて転載済）

海外相手大学追加調書を提出した場合、追加調書分の人数を記入してください（複数大学の提出がある場合は、その合計数を記入）。提出がない場合は、「-」を記入してください。「0」や「人」は不要です。

※記入方法については、前ページの記入例も参照してください。

(ii) 目標を設定した考え方及び達成までのプロセス（事業計画全体、中間評価までの双方について）

計画調書の【達成目標】
⑤本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移
 からの転載（事務局にて転載済）

外国人学生数の目標の達成状況		人（延べ数）
事業計画全体の達成状況（事業開始～平成32年度まで）		人（延べ数）
中間評価までの達成状況（事業開始～平成29年度まで）		人（延べ数）

グレーの網掛け部分には記入しないでください。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
合計人数	人	人			

左記の「中間評価までの達成目標」に対する、平成29年度末における数値実績を記入してください。

【平成29年度末における目標の達成状況】

左記の内容に対する、平成29年度末における目標の達成状況について、具体的に分かりやすく記入してください。
※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

【目標の達成状況における課題点】

* 目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明の上、目標達成に向けた今後の対応について記入すること。

申請時の目標を達成していない場合は、その背景や事情等を説明した上で、目標達成に向けた今後の対応について記入してください。

なお、本欄は「箇条書き」で記入してください。

※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

【今後の展望】

上記の達成状況等を踏まえた、今後の展望について記入してください。

※外国人学生数の目標の達成状況（表）、【平成29年度末における目標の達成状況】【目標の達成状況における課題点】及び【今後の展望】を合わせて2ページ以内

④中間評価までの交流学生数

タイプA共通

申請時の事業計画

1. 交流する相手大学名

(中国側大学)	(韓国側大学)
---------	---------

交流する大学名のうち、海外追加相手大学名には下線をつけてください。申請時からの大学名には下線の必要はありません。

2. 交流する学生数について<概要>

(単位:人)

①:本事業計画における交流学生数(計画)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
合計人数											A	D

計画調書に記載した交流学生数を記入してください(海外相手大学追加調書の提出がある場合は、追加分を含む)

①-1:【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国別 内訳】(計画)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数		28	12									B	E
交流相手国 中国	申請時	8	3										
	追加調書分	2	2										
交流相手国 韓国	申請時	8	3										
	追加調書分	-	1										
交流相手国 中国及び韓国	申請時	2	/										
	追加調書分	4	/										
自己負担又は大学負担等による交流学生数	申請時	-	3									B'	E'
	追加分	4	-										

【記入に当たっての注意事項】 ※表中の数値はサンプル
 ○交流学生数は「年度」ごとに「派遣・受入」それぞれについて枠内に記入してください。
 ○派遣・受入期間が年度をまたぐ場合は、派遣・受入開始年度を基準に人数をカウントしてください。
 ○追加調書分には、申請時から追加となった大学への派遣・受入数を記入してください。該当が無い場合は「-」を記入してください。
 ○各表の「合計」欄の間に、以下の関係が成立するようにしてください。
 派遣:「A」=「B+B'」=「C (の合計)」
 受入:「D」=「E+E'」=「F (の合計)」

①-2:【交流形態別 内訳】(計画)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位取得を伴う交流期間 3ヶ月未満の交流学生数												C
単位取得を伴う交流期間 3ヶ月以上の交流学生数												F
上記以外の交流期間 3ヶ月未満の交流学生数												
上記以外の交流期間 3ヶ月以上の交流学生数												

計画調書に記載した交流学生数を記入してください(海外相手大学追加調書の提出がある場合は、追加分を含む)

②: 宿舎の提供について(計画)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
宿舎(大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等)を提供予定の学生数												

事業計画の実施状況

1. 交流する相手大学名

(中国側大学)	(韓国側大学)
---------	---------

2. 交流する学生数について<概要>

(単位:人)

30年度~32年度の記入は不要です。

①:本事業計画における交流学生数(実績)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
合計人数												

①-1:【三カ国共通の財政支援の有無及び交流相手国別 内訳】(実績)

		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
		派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数													
交流相手国: 中国													
交流相手国: 韓国													
交流相手国: 中国及び韓国		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
自己負担又は大学負担等による交流学生数													

①で記入した交流学生数のうち、「(日中韓)三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数」を記入してください。

①で記入した交流学生数のうち、「自己負担又は大学負担等による交流学生数」を記入してください。

上記「三カ国共通の財政支援対象となる交流学生数」について
 「交流相手国」による各内訳人数を、表に示した区分に基づき記入してください。
 なお、一人の日本人学生が中韓両国の大学で実施する一つの交流プログラムに参加する場合は、「中国及び韓国」欄に「1(人)」とカウントし、他の欄(「中国」欄及び「韓国」欄)には計上しないでください。

①-2:【交流形態別 内訳】(実績)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
単位取得を伴う交流期間 3ヶ月未満の交流学生数												
単位取得を伴う交流期間 3ヶ月以上の交流学生数												
上記以外の交流期間 3ヶ月未満の交流学生数												
上記以外の交流期間 3ヶ月以上の交流学生数												

①で記入した交流学生数について、「交流形態(単位取得の有無及び交流期間)」による各内訳人数を、表に示した区分に基づき記入してください。

②: 宿舎の提供について(実績)

	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入
宿舎(大学所有の宿舎、大学借り上げによる宿舎等)を提供した学生数												

(大学名:) (タイプ:A)

申請時の事業計画							事業計画の実施状況						
3. 交流する学生数について<派遣・受入別 交流プログラムの詳細>							3. 交流する学生数について<派遣・受入別 交流プログラムの詳細>						
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 個別の交流計画について、派遣・受入別に表に記入してください。 記入欄が不足する場合は、適宜行及びページを追加してください。 </div>													
①: 日本人学生の派遣 (日本⇒中国、韓国)【計画】							①: 日本人学生の派遣 (日本⇒中国、韓国)【実績】						
(単位:人)							(単位:人)						
年度	交流期間	派遣元大学名 (日)	派遣先大学名 (中、韓)	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数	年度	交流期間	派遣元大学名 (日)	派遣先大学名 (中、韓)	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数
H28	2016.10 ~ 2017.03	〇〇大学	△△大学	交換留学(修士)	単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	3	H28	2016.10 ~ 2017.03	〇〇大学	△△大学	交換留学(修士)	単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	3
	2016.12 ~ 2016.12	〇〇大学	〇〇大学	ウィンターセミナー	上記以外の交流期間3ヶ月未満の交流	5		2016.12 ~ 2016.12	〇〇大学	〇〇大学	ウィンターセミナー	上記以外の交流期間3ヶ月未満の交流	4
H29	2017.04 ~ 2017.09	〇〇大学	△△大学	交換留学(修士)	単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	3	H29	2017.04 ~ 2017.09	〇〇大学	△△大学	交換留学(修士)	単位取得を伴う交流期間3ヶ月以上の交流	3
	2017.08 ~ 2017.08	〇〇大学	△△大学 □□大学	サマーセミナー(1週間)	上記以外の交流期間3ヶ月未満の交流	10		2017.08 ~ 2017.08	〇〇大学	△△大学 □□大学	サマーセミナー(1週間)	上記以外の交流期間3ヶ月未満の交流	10
H30	~						H30	~					
H31	~						H31	~					
H32	~						H32	~					
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 【記入に当たっての注意事項】 ○計画調書に記載した交流計画を開始時期の早いものから順に記入してください。 (記載する欄は交流を開始した年度を基準としてください。) ○追加となった交流には下線をつけてください。 </div>							<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 記入した交流期間及び交流内容から、交流形態を ドロップダウンリストから選択してください。 </div>						
②: 外国人学生の受入 (中国、韓国⇒日本)【計画】							②: 外国人学生の受入 (中国、韓国⇒日本)【実績】						
(単位:人)							(単位:人)						
年度	交流期間	派遣元大学名 (中、韓)	受入先大学名 (日)	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数	年度	交流期間	派遣元大学名 (中、韓)	受入先大学名 (日)	交流内容 (交流プログラム名等)	交流形態	交流 学生数
H28	~						H28	~					
H29	~						H29	~					
H30	~						H30	~					
H31	~						H31	~					
H32	~						H32	~					
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「①: 日本人学生の派遣 (日本⇒中国、韓国)」と同じ要領で記入してください。 </div>							<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 「①: 日本人学生の派遣 (日本⇒中国、韓国)」と同じ要領で記入してください。 </div>						
<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 30年度~32年度の記入は不要です。 </div>							<div style="border: 1px dashed red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 30年度~32年度の記入は不要です。 </div>						

タイプA共通

(大学名:) (タイプ:A-)

④中間評価までの交流学生数

申請時の事業計画

事業計画の実施状況

タイプB

(i)の数値が以下の各様式で記入した年度毎の合計人数と一致し、(ii)(iii)の各表に記入する内容とも齟齬のないようにしてください。追加等による修正分があれば合計して記載してください。
 ・事業の目的・概要及び交流プログラムの内容の「①事業の目的・概要等」【本事業で計画している交流学生数】
 ・2. 目標の達成状況の「②本事業計画において海外に留学する日本人学生数の推移」(i)日本人学生数の達成目標
 ・2. 目標の達成状況の「③本事業計画において受け入れる外国人学生数の推移」(i)外国人学生数の達成目標

(i)の数値が(ii)(iii)の各表に記入する内容とも齟齬のないようにしてください。追加等による修正分があれば合計して記載してください。

(i)本事業

各年度の事業計画全体の派遣及び受入合計人数(交流期間、単位取得の有無は問わない)。	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入

(i)本事業で計画している交流学生数(実績)

各年度の事業計画全体の派遣及び受入合計人数(交流期間、単位取得の有無は問わない)。	平成28年度		平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		合計	
	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入	派遣	受入

(ii)国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数

交流プログラムごとの年度別交流学生数を、派遣・受入それぞれについて記入してください。
 派遣・受入期間が年度をまたぐ場合は、派遣・受入開始年度を基準に人数をカウントしてください。

(ii)国内大学及び交流プログラムごとの交流学生数(実績)

交流プログラムごとの年度別交流学生数を、派遣・受入それぞれについて記入してください。
 派遣・受入期間が年度をまたぐ場合は、派遣・受入開始年度を基準に人数をカウントしてください。

ASEAN+3学生交流のためのガイドラインより

学習期間	(a)3ヶ月未満 (b)3ヶ月以上6ヶ月未満 (c)6ヶ月以上1年以下 (d)1年より長期間
------	---

(プログラムの)タイプ

(a)単位取得型 (b)学位取得型 (c)その他

上記の表に示す区分から、該当する内容を選択してください。
 追加等による修正分については下線をつけてください。

ASEAN+3学生交流のためのガイドラインより

学習期間	(a)3ヶ月未満 (b)3ヶ月以上6ヶ月未満 (c)6ヶ月以上1年以下 (d)1年より長期間
------	---

(プログラムの)タイプ

(a)単位取得型 (b)学位取得型 (c)その他

上記の表に示す区分から、該当する内容を選択してください。

1.【代表申請大学】

大学名 □□大学	交流プログラム名 (又は相手大学名)	相手大学名(国名)	交流方向	交流形態		交流学生数						
				学習期間	タイプ	H28	H29	H30	H31	H32	合計	
1 (記入例1) ○○○○○○○ 交流プログラム	●●大学(○○)	派遣	(a)3ヶ月未満	(c)	0	1	1	1	1	4		
			(b)3ヶ月以上6ヶ月未満	(a)	0	2	2	2	2	8		
			(c)6ヶ月以上1年以下	(a)	0	2	2	2	2	8		
			(a)3ヶ月未満	(c)	0	3	3	3	3	12		
			(c)6ヶ月以上1年以下	(a)	0	2	2	2	2	8		
2 (記入例2) ▲▲大学	左に同じ(△△)	派遣	(b)3ヶ月以上6ヶ月未満	(a)	0	1	1	1	1	4		
			(b)3ヶ月以上6ヶ月未満	(a)	0	1	1	1	1	4		
3 (記入例3) □□□ 交流プログラム	■●大学(□□) ●●大学(○○) ◆◆大学(◆◆)	派遣	(a)3ヶ月未満	(c)	0	2	2	2	2	8		
			(a)3ヶ月未満	(c)	0	2	2	2	2	8		
			(c)6ヶ月以上1年以下	(a)	0	2	2	2	2	8		
4 (記入例4) ◇◇◇ 交流プログラム	◇◇大学(◇◇) ◆◆大学(◆◆) のいずれか	派遣	(a)3ヶ月未満	(c)	0	2	2	2	2	8		
			(a)3ヶ月未満	(c)	0	2	2	2	2	8		

1.【代表申請大学】

大学名 □□大学	交流プログラム名 (又は相手大学名)	相手大学名(国名)	交流方向	交流形態		交流学生数						
				学習期間	タイプ	H28	H29	H30	H31	H32	合計	
1 (記入例1) ○○○○○○○ 交流プログラム	●●大学(○○)	派遣	(a)3ヶ月未満	(c)	0	1				1		
			(b)3ヶ月以上6ヶ月未満	(a)	0	2				2		
			(c)6ヶ月以上1年以下	(a)	0	2				2		
			(a)3ヶ月未満	(c)	0	3				3		
			(c)6ヶ月以上1年以下	(a)	0	2				2		
2 (記入例2) ▲▲大学	左に同じ(△△)	派遣	(b)3ヶ月以上6ヶ月未満	(a)	0	1				1		
			(b)3ヶ月以上6ヶ月未満	(a)	0	1				1		
3 (記入例3) □□□ 交流プログラム	■●大学(□□) ●●大学(○○) ◆◆大学(◆◆)	派遣	(a)3ヶ月未満	(c)	0	2				2		
			(a)3ヶ月未満	(c)	0	2				2		
			(c)6ヶ月以上1年以下	(a)	0	2				2		
4 (記入例4) ◇◇◇ 交流プログラム	◇◇大学(◇◇) ◆◆大学(◆◆) のいずれか	派遣	(a)3ヶ月未満	(c)	0	2				2		
			(a)3ヶ月未満	(c)	0	2				2		

2.【国内連携大学等】

大学等名	交流プログラム名 (又は相手大学名)	相手大学名(国名)	交流方向	交流形態		交流学生数						
				学習期間	タイプ	H28	H29	H30	H31	H32	合計	
1			派遣									
2			受入									

2.【国内連携大学等】

大学等名	交流プログラム名 (又は相手大学名)	相手大学名(国名)	交流方向	交流形態		交流学生数						
				学習期間	タイプ	H28	H29	H30	H31	H32	合計	
1			派遣									
2			受入									

(大学名:) (タイプ:B)

(iii) 本事業で計画している交流学生数(派遣・受入別 集計)

日本人学生の派遣

※(iii)で1ページ
「日本人学生の派遣」「外国人学生の受入」他の数値と一致させてください。

【交流形態別 集計】

学習期間	プログラムのタイプ	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
3ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
3ヶ月以上6ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
6ヶ月以上1年以下	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
1年より長期間	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
(年度別)合計		0	0	0	0	0	0

交流形態(学習期間及びプログラムのタイプ)による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。また、国内連携大学等がある場合は、代表申請大学分と合わせて、(ii)で記入した全ての表を集計し、数値を一致させてください。

(年度別)合計は、(i)の表で記入する「派遣」各欄の交流学生数と一致させてください。

【交流相手国別 集計】

交流相手国※1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
カンボジア						0
ラオス						0
ミャンマー						0
ベトナム						0
その他(上記4カ国以外)						0
(年度別)合計※2		0	0	0	0	0

【記入に当たっての注意事項】
・複数の交流相手先からいずれか一つを選択する交流プログラムなど、計画調書において交流相手国が未確定の場合は、そのうちの一つを選択して計上してください。
・一人の学生が複数国の大学に派遣される交流プログラムの場合は、派遣先となる全ての国にそれぞれ計上してください。

交流相手国による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。

(iii) 本事業で計画している交流学生数(実績)(派遣・受入別 集計)

日本人学生の派遣

※(iii)で1ページ
「日本人学生の派遣」「外国人学生の受入」他の数値と一致させてください。

タイプB

【交流形態別 集計】

学習期間	プログラムのタイプ	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
3ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
3ヶ月以上6ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
6ヶ月以上1年以下	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
1年より長期間	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
(年度別)合計		0	0	0	0	0	0

交流形態(学習期間及びプログラムのタイプ)による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。また、国内連携大学等がある場合は、代表申請大学分と合わせて、(ii)で記入した全ての表を集計し、数値を一致させてください。

【交流相手国別 集計】

交流相手国※1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
カンボジア						0
ラオス						0
ミャンマー						0
ベトナム						0
その他(上記4カ国以外)						0
(年度別)合計※2		0	0	0	0	0

【記入に当たっての注意事項】
・一人の学生が複数国の大学に派遣される交流プログラムの場合は、派遣先となる全ての国にそれぞれ計上してください。

交流相手国による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。

(参考)【その他(上記4カ国以外)の交流相手国別 内訳集計】

交流相手国※1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
タイ						0
シンガポール						0
※以下、適宜国名を追記してください。						
(年度別)小計※2		0	0	0	0	0

【記入に当たっての注意事項】
・その他(上記4カ国以外)で記載した内訳を計上してください。また、交流相手国別表に記載したその他(上記4カ国以外)の数値とこの内訳合計数が一致していることを確認してください。

※1: 複数の交流相手先からいずれか一つを選択する交流プログラムなど、計画調書において交流相手国が未確定の場合は、そのうちの一つを選択して計上している。
※2: 【交流形態別 集計】の(年度別)合計とは一致しない場合がある。(一人の学生が複数国の大学に派遣される交流プログラムの場合は、各国に計上しているため。)

(大学名:) (タイプ: B)

外国人学生の受入

【交流形態別 集計】

学習期間	プログラムのタイプ	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
3ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型	交流形態（学習期間及びプログラムのタイプ）による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。また、国内連携大学等がある場合は、代表申請大学分と合わせて(ii)で記入した全ての表を集計し、数値を一致させてください。					0
	その他						0
単位取得型	0						
3ヶ月以上6ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型	交流形態（学習期間及びプログラムのタイプ）による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。また、国内連携大学等がある場合は、代表申請大学分と合わせて(ii)で記入した全ての表を集計し、数値を一致させてください。					0
	その他						0
単位取得型	0						
6ヶ月以上1年以下	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
単位取得型	0						
1年より長期間	単位取得型						0
	学位取得型	(年度別)合計は、(i)の表で記入する「派遣」各欄の交流学生数と一致させてください。					0
	その他						0
単位取得型	0						
(年度別)合計		0	0	0	0	0	0

【交流相手国別 集計】

交流相手国※1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
カンボジア						0
ラオス	【記入に当たっての注意事項】 ・複数の交流相手先からいずれか一つを選択する交流プログラムなど、計画調書において交流相手国が未確定の場合は、そのうちの一つを選択して計上してください。 ・一人の学生が複数国の大学に派遣される交流プログラムの場合は、派遣先となる全ての国にそれぞれ計上してください。					0
ミャンマー						0
ベトナム						0
その他(上記4カ国以外)	交流相手国による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。					0
(年度)						0
(年度別)合計						0

外国人学生の受入

タイプB

【交流形態別 集計】

学習期間	プログラムのタイプ	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
3ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型	交流形態（学習期間及びプログラムのタイプ）による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。また、国内連携大学等がある場合は、代表申請大学分と合わせて(ii)で記入した全ての表を集計し、数値を一致させてください。					0
	その他						0
単位取得型	0						
3ヶ月以上6ヶ月未満	単位取得型						0
	学位取得型	交流形態（学習期間及びプログラムのタイプ）による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。また、国内連携大学等がある場合は、代表申請大学分と合わせて(ii)で記入した全ての表を集計し、数値を一致させてください。					0
	その他						0
単位取得型	0						
6ヶ月以上1年以下	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
単位取得型	0						
1年より長期間	単位取得型						0
	学位取得型						0
	その他						0
単位取得型	0						
(年度別)合計		0	0	0	0	0	0

【交流相手国別 集計】

交流相手国※1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
カンボジア						0
ラオス	【記入に当たっての注意事項】 ・一人の学生が複数国の大学に派遣される交流プログラムの場合は、派遣先となる全ての国にそれぞれ計上してください。					0
ミャンマー						0
ベトナム						0
その他(上記4カ国以外)	交流相手国による区分に基づき、(ii)の表の交流学生数を年度別に集計の上、記入してください。					0
(年度)						0
(年度別)合計						0

(参考)【その他(上記4カ国以外)の交流相手国別 内訳集計】

交流相手国※1	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
タイ	【記入に当たっての注意事項】 ・その他(上記4カ国以外)に記載した内訳を計上してください。また、交流相手国別表に記載したその他(上記4カ国以外)の数値とこの内訳合計数が一致していることを確認してください。					0
シンガポール						0
※以下、適宜国名を追記してください。						0
(年度別)小計※2	0	0	0	0	0	0

※1:複数の交流相手先からいずれか一つを選択する交流プログラムなど、計画調書において交流相手国が未確定の場合は、そのうちの一つを選択して計上している。

※2:【交流形態別 集計】の(年度別)合計とは一致しない場合がある。(一人の学生が複数国の大学に派遣される交流プログラムの場合は、各圏に計上しているため。)

(大学名:) (タイプ:B)

補助期間における各経費の実績【年度ごとに1ページ】

(単位:千円)

計画調書に記載した年度毎の各経費の明細及び平成29年度までの実績報告書に基づき、平成28年度までの実績を記載。【年度ごとに1ページ】

＜平成28年度＞	経費区分	補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
	[物品費]	5,255	0	5,255	
	①設備備品費				
	・〇〇システム一式	2,455	0	2,455	
	・視聴覚装置一式	2,800	0	2,800	
	・			0	
	②消耗品費				
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[人件費・謝金]	0	0	0	
	①人件費				
	・雇用等経費(特任教授)			0	
	・雇用等経費(〇〇用事務補佐員)			0	
	・			0	
	②謝金				
	・謝金(〇〇フォーラム講師謝金)			0	
	・			0	
	・			0	
	[旅費]	0	0	0	
	・国内旅費(〇〇会議、実地調査)			0	
	・外国旅費(〇〇調査)			0	
	・外国人招へい等旅費(〇〇指導)			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	・			0	
	[その他]	8,015	0	8,015	
	①外注費			0	
	・			0	
	・			0	
	②印刷製本費				
	・				
	・				
	③会議費				
	・				
	・				
	④通信運搬費			0	
	・			0	
	・			0	
	⑤光熱水料				
	・				
	・				
	⑥その他(諸経費)				
	・返納	8,015		8,015	利息174円
	・			0	
	・			0	
平成28年度	合計	13,270		13,270	

「補助金額(a)」欄には補助事業に要した補助対象経費の額を、「大学負担額(b)」欄には、自己資金その他の金額を記入してください。
 平成28年度分は確定済みの額を記入し、平成29年度分は文部科学省に提出した実績報告書の額と一致するように記入してください。
 (ただし千円単位で記入し、合計が一致するように端数調整をしてください。)
 「補助金額(a)」及び「大学負担額(b)」を記入すると、「支出実績(a+b)」、各項目の合計額及び該当年度の合計額が自動的に計算されます。
 各費目の内訳については、内容がある程度分かるように記入してください。
 なお、「大学負担(b)」記載以外に、国立大学法人及び公立大学法人における「運営費交付金」等で自己負担額がある場合、備考欄に具体的な金額等を補足することは可能です。

返納がある場合は、「[その他]⑥その他(諸経費)」欄に記入してください。

利息がある場合は「[その他]⑥その他(諸経費)」の「備考」欄に実際の利息額を円単位で記入してください。

「代表大学名」と「主たる交流先」を記入してください。

(大学名:) (主たる交流先:)

(前ページの続き)

(単位:千円)

<平成29年度> 経費区分		補助金額 (a)	大学負担額 (b)	支出実績 (a+b)	備考
[物品費]		0	0	0	
①設備備品費					
・				0	
・				0	
・				0	
②消耗品費					
・				0	
・				0	
・				0	
[人件費・謝金]		0	0	0	
①人件費					
・				0	
・				0	
・				0	
②謝金					
・				0	
・				0	
・				0	
[旅費]		0	0	0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
・				0	
[その他]		0	0	0	
①外注費					
・				0	
・				0	
・				0	
②印刷製本費					
・				0	
・				0	
・				0	
③会議費					
・				0	
・				0	
・				0	
④通信運搬費					
・				0	
・				0	
・				0	
⑤光熱水料					
・				0	
・				0	
・				0	
⑥その他(諸経費)					
・				0	
・				0	
・				0	
平成29年度	合計	0	0	0	

(大学名:) (主たる交流先:)